

日本語能力試験(JLPT)結果

N1 合格率 75.8%

昨年 12 月 3 日に実施された 2017 年度第 2 回日本語能力試験(JLPT)の結果、N1 級では校内 33 名中 25 名が合格しました。合格率は校内で過去最高の 75.8%でした。昨年 7 月の N1 合格者 8 名と合わせて、2017 年度は 33 名の N1 合格者が生まれました。通算合格率は 73.3%でした。なお、非漢字圏の学生は 8 名中 5 名が合格しました。

今回の N1 トップは 11 月の日本留学試験(EJU)の「日本語」で世界最高点となる 371 点を記録した陳禾家さんの 173 点でした。N1 の校内平均は 117.2 点で、進学クラスの平均は 115.5 点でした。

初級から 1 年 2 か月で 170 点

趙悦婷さんは、2016 年 10 月に初級クラスからのスタートでしたが、1 年 2 か月で 170 点という高い成績で合格しました。

N1 「読解」と「聴解」で満点 8 名

N1 の「読解」の分野では陳禾家さん、趙悦婷さん、許世閔さん、林丞緯さん(台湾)の 4 名が 60 点満点。また、「聴解」の分野では陳禾家さん、許世閔さん、Lin Frank さん、王映之さんの 4 名が 60 点満点でした。



N2 は許瑜娟さんが満点合格

N2 では 34 名のうち約 8 割の 27 名が合格しました。トップは許瑜娟さんの 180 点(満点)でした。校内平均は 109.6 点でした。

昨年 7 月の N2 合格者 41 名と合わせて、2017 年度の N2 合格者は 64 名になりました。通算合格率は 85%です。今回の N2 受験者には非漢字圏(タイ、インドネシア、マレーシア)からの学習者が 10 名いましたが、そのうち 6 名が合格しました。

「言語知識」の分野では許瑜娟さんと闕家宏さんが 60 点満点。「読解」の分野では許瑜娟さん、闕家宏さん、陳柏均さんの 3 名が 60 点満点。「聴解」の分野では許瑜娟さんと Norman Utojo さん(インドネシア)が 60 点満点でした。

N3 は 12 名が受験し、7 名が合格。トップは Lee Chai Lun さん(マレーシア)で 152 点でした。Lee さんは「読解」で 60 点満点でした。N4 は受験した 2 名全員が合格しました。

N1 校内ベスト 5(180 点満点)

| 順位 | クラス | 氏名 | 出身 | 総合点 |
|----|-----|-----------|-----|-----|
| 1 | A | 陳 禾家 | 台湾 | 173 |
| 2 | C | 趙 悦婷 | 香港 | 170 |
| 3 | C | 許 世閔 | 台湾 | 168 |
| 4 | A | Lin Frank | USA | 152 |
| 5 | C | 王 映之 | 台湾 | 151 |

N2 校内ベスト 5(180 点満点)

| 順位 | クラス | 氏名 | 出身 | 総合点 |
|----|-----|------|----|-----|
| 1 | C | 許 瑜娟 | 台湾 | 180 |
| 2 | C | 闕 家宏 | 台湾 | 162 |
| 3 | D | 陳 柏均 | 台湾 | 157 |
| 4 | E | 莊 惟舜 | 台湾 | 142 |
| 5 | E | 李 翎綺 | 台湾 | 131 |

(日本語能力試験の合格ラインは、いずれの級も 180 点満点中、N1 が 100 点、N2 が 90 点、N3 が 95 点、N4 が 90 点、N5 は 80 点です。)

金先生叙勲と創立 30 周年
記念パーティー盛大に

2 月 7 日、帝国ホテルで、金美齡名誉理事長の旭日小綬章受章と JET 日本語学校創立 30 周年の「感謝の夕べ」が開催されました。

安倍首相夫妻をはじめ 170 名余りの来賓をお迎えしました。



祝 合 格

(3月31日現在)

【大学院】

沈佑穎 (台湾) 国立京都大学大学院 工学研究科
 賴銀豐 (台湾) 国立筑波大学大学院 人間総合科学研究科
 賴銀豐 (台湾) 国立広島大学大学院 総合科学研究科
 柯伯叡 (台湾) 東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科
 劉泰源 (台湾) 首都大学東京大学院 人文科学研究科(研究生)
 翁家傑 (台湾) 東京造形大学大学院 造形研究科
 應婉柔 (台湾) 文化ファッション大学院大学 ファッションビジネス研究科
 Nuttapon Kumsanlas (タイ・2014卒) 国立金沢大学大学院 自然科学研究科

【大学】

林丞緯 (台湾) 国立和歌山大学 経済学部
 Atika Natalia Sasmita (インドネシア) 明治大学 農学部
 Atika Natalia Sasmita (インドネシア) 東京農業大学 農学部
 Christian Michael Ho (インドネシア) 和光大学 経済経営学部
 Ferdinand Aldi Wirawan Ibrahim (インドネシア) 武蔵野大学 工学部
 Kazuyoshi George Takagi (インドネシア) 東海大学 工学部
 Lin Frank (アメリカ) 明治大学 商学部
 Lin Frank (アメリカ) 同志社大学 商学部
 Nadia Sekar Al Aqsha (インドネシア) 東京農業大学 農学部
 Norman Utojo (インドネシア) 拓殖大学 商学部
 Norman Utojo (インドネシア) 大東文化大学 経営学部
 Richard Alexander (インドネシア) 日本大学 理工学部
 Wahyu Hutama (インドネシア) 芝浦工業大学 システム工学部
 Wahyu Hutama (インドネシア) 芝浦工業大学 工学部
 Yoganata Kristanto (インドネシア) 芝浦工業大学 工学部
 Yoganata Kristanto (インドネシア) 東京電機大学 未来学部
 胡郡庭 (台湾) 拓殖大学 経営学部
 施培遠 (台湾) 松本歯科大学 歯学部
 施培遠 (台湾) 鶴見大学 歯学部
 施培遠 (台湾) 神奈川歯科大学 歯学部
 趙悦婷 (香港) 早稲田大学 スポーツ科学部
 張捷明 (台湾) 近畿大学 農学部
 陳禾家 (台湾) 明治大学 商学部
 陳禾家 (台湾) 同志社大学 商学部
 陳韋佑 (台湾) 東洋大学 経営学部
 鄭禹彤 (台湾) 武蔵野美術大学 造形学部
 鄭禹彤 (台湾) 女子美術大学 芸術学部
 朴庸準 (韓国) 拓殖大学 商学部
 彭鵬文 (台湾) 東京経済大学 経済学部
 賴宜庭 (台湾) 芝浦工業大学 工学部
 李華葦 (香港) 洗足学園音楽大学 音楽学部
 李銘峻 (台湾) 近畿大学 経営学部
 邱靖雯 (台湾) 明治学院大学 国際学部
 邱靖雯 (台湾) 日本大学 芸術学部

【専門学校】

Felia Tanri (インドネシア) 東京デザイナー学院 マンガ科

Irena Tanutama (インドネシア) 日本工学院専門学校 工業専門課程
 Michael Jeremia Truno (インドネシア) 専門学校 HAL名古屋 カーデザイン学科
 Michael Kurniawan (インドネシア) 東京観光専門学校 ホテル学科
 簡郡萱 (台湾) 東京デザイナー学院 イラストレーション科
 許世閔 (台湾) 日本菓子専門学校 製菓技術学科
 沈宗怡 (台湾) 日本菓子専門学校 製菓技術学科
 陳充 (台湾) 日本電子専門学校 電気工事技術科
 陳俐心 (台湾) 東京製菓学校 第一部製菓専門課程
 楊士鉉 (台湾) 文化外国語専門学校 日本語通訳ビジネス科
 林佳慧 (台湾) 東京デザイナー学院 グラフィックデザイン科
 林欣慧 (台湾) 東京調理製菓専門学校 パティシエ・ブーランジェ科
 林珈丞 (台湾) 阿佐ヶ谷美術専門学校 デザイン学科
 林俐玟 (台湾) 東京アニメーションカレッジ専門学校 アニメーション総合学科

卒業式 54名に修了証書

8名に皆勤賞

3月9日、卒業式が行われ、進学科28名、基礎科26名に修了証書が授与されました。卒業生を代表してAクラスのLin Frankさん(USA)が挨拶をしました。(右写真)



卒業式では皆勤賞の表彰も行われました。入学以来1年半皆勤だったのはAtika Natalia Sasmitaさん(インドネシア)、賴宜庭さん(台湾)、王映之さん(台湾)の3人。1年の皆勤は關家宏さん、楊佳蓉さん、林佳慧さん、李翎綺さん、魏亭婷さんの5人(いずれも台湾)でした。(下写真)



早稲田大9月入学にクリスタルさん

2018年度の合格一番乗り

昨年10月に入学したクリスタル・アイリーンさん(インドネシア)が、早稲田大学基幹理工学部にて早々と合格しました。早稲田には今年9月の入学となります。

新生 52 名迎え新学期

4月期は新生 52 名を迎え、8 クラス 120 名でスタートしました。4月3日にプレースメントテスト、4日に入学式とオリエンテーション、在校生を交えて歓迎パーティー(下写真)を行いました。今学期の国籍分布は、台湾 65%、インドネシア 15%、マレーシア 9%、タイ 4%、香港 3%、その他です。



2018 年度 教師 4 名迎え新体制

2018 年度は、専任教師 1 名、非常勤講師 3 名を新たに採用し、合計 15 名の教師陣(専任 8 名、非常勤 7 名)の体制で臨みます。新たに採用されたのは、専任の石津慎也先生、非常勤の原摂子先生、藤井佳恵先生、黒澤光治先生です。

★ 新任教師紹介 ★

○石津 慎也 (いしづ しんや)先生

兵庫県出身。ベトナムで3年、タイで1年、日本語を教えました。茨城県在住です。趣味は旅行と音楽。民族楽器アサルトの講師歴もあります。今ビートボックス練習中です。いっしょに楽しく勉強していきましょう!

○原 摂子 (はら せつこ)先生

名古屋市出身。東京の大学を卒業し、京都で日本語教師をしながら大学院も卒業しました。埼玉県在住です。JET の学生との新しい出会いに毎日刺激を受けています。日本について、また皆さんの国について、たくさん話していきたいです。

○藤井 佳恵 (ふじい よしえ)先生

静岡県出身。大学から東京在住。学生時代は専門の勉強の他に、フルート、フェンシングをしていました。IT系や通信ネットワークなどの企業で勤務後、大学院へ通いました。学ぶ楽しさを皆さんと共有したいです。

○黒澤 光治 (くろさわ こうじ)先生

大阪出身。民間企業で約 25 年間勤務し、強く認識できた事は『企業は人なり』です。海外での勤務経験で確信しました。この経験が、自他国問わず若い人の糧となるよう邁進たく存じます。

森山先生 校務主任に

数学と理科の指導にあたる森山先生は、2018 年度から校務主任に就任しました。IT 関連業務、官公庁などへの各種申請業務、その他学校行事など幅広い業務を担当します。

井上校長 文化審議会の委員に就任

文化庁長官の諮問機関である文化審議会の国語分科会日本語教育小委員会の委員に、5月1日付で井上校長が就任しました。

日本語教育の推進が国の課題となるなか、日本語教師の養成、研修、資格のあり方などについて審議をします。

インターンシップ受け入れで 2 名

目白大学の日本語教員養成課程を今年卒業した金田采子さんが4月から、東京女子大学4年の矢部紘さんが5月から、それぞれ週に1~2日、インターンとしてJETに来ています。金田さんはTA(ティーチングアシスタント)として、初級クラスの学生指導も担当しています。

12 名が就職セミナー受講

卒業後に日本での就職を希望する 12 名の学生に対して、以下の日程で就職セミナーを実施しました。12名の国籍は台湾 8 名、インドネシア、タイ、香港、フランスが各 1 名ずつです。

●4月27日 ガイダンス

日本の企業の特徴や留学生の就職状況など、全般的なことを学びました。またマレーシア PASONA に勤めるエミリアさん(元留学生)の就職体験談を聞き、貴重なアドバイスもいただきました。

●5月9日 自己分析

自分が日本の企業に就職する理由は何か、自分はどんな仕事をやりたいのかを考え、面接などで上手に自己紹介ができるように準備しました。

●5月23日、30日 模擬面接

就職指導のプロ(リュウカツネット)をお迎えして、面接での礼儀作法や、質問に対する答え方などを訓練しました。

●6月6日 企業経営者との意見交換会

東京商工会議所北支部の「きた経営塾」のメンバーら 6 名の企業経営者をお迎えして、活発な意見交換を行いました。企業が採用の際に最も重視する点として、コミュニケーション能力を多くの経営者が指摘していました。今回の意見交換会では、全体セッションのほか、グループセッションも行いました。



2018 年度前期の「日本事情」クラス

- 「現代小説」7月19日~9月6日 (三浦先生)
- 「歌えラララ」5月14日~6月18日 (石津先生)
- 「留学生日記」7月6日~8月31日 (岡田先生)

新聞記者による出前授業

Dクラスでのプロジェクトワークについてのレポート

2月13日、新聞記者による出前授業「ことばの授業」(読売新聞社による社会貢献事業の一環)を実施。

当日は、読売新聞社から現役の新聞記者(保井隆之さん)とNPO法人企業教育研究会より樋口健さんをお招きし、実演を交えてインタビューのノウハウを教えてくださいました。

また、この授業には板橋区文化・国際交流財団を通して、日本語ボランティア団体「仲間」、「スマイルサークル」様をご紹介いただき、4名の日本人ボランティアの方々に参加していただきました。

クラスの学生のほとんどは、今までに授業でJETの先生方にインタビューするという経験をしています。話を聞き出す技術が足りないことや話が広げられないという点が課題でした。そこでプロの助けを借り、実演を通して学び、それを学校外の生活でも活用できるようにすることを授業のねらいとしました。

インタビューのテーマは「職業観」。日本語の練習もさることながら、人生の先輩の話が学生の将来の参考になればと思い、事前に記者の保井さんと授業案を練り、ボランティアの方々にもインタビューのテーマはあらかじめ伝えておきました。

緊張した面持ちで授業が始まりましたが、記者のインタビューの相手に得猪先生が指名されると一気に場が和みました。その後、樋口さんがインタビューした内容を模造紙に書き、わかったことをクラスで共有。さあ次は、実践の時間。学生たちは、ボランティアの方々に果敢に話しかけていました。最後に、インタビューした内容を学生の代表が模造紙に書いて披露し、今日の学習の成果を全員で確認しました。

保井記者はじめ、ボランティアの方々からは、学生の意欲と日本語のレベルの高さに驚いたという感想をいただきました。学生からは、「見て学んで、すぐ実践という活動ができてよかった。」「いただいたメモ帳を使うとプロみたい」との声が寄せられ、有意義な実践練習の場となったようです。この学びをぜひ試してみてください。(木村晴美)



タイの高校生たちと交流

4月16日、タイ王立チットラーダ校から10名(男子2名、女子8名)の高校2年生が順天学園高校(北区)との交流のために来日しました。JETは交流プログラムの前座をつとめ、17~19日の3日間、日本語研修と交流活動を行いました。

全員第二外国語として日本語を選択している生徒たちで、特別授業の他、JETの3つのクラスに分かれて編入して2コマの授業も聴講しました。

タイで日本語の基礎を学んでいるだけにのみこみもはやく、チームワークも抜群。交流会ではJET生12名にタイ文化紹介をしました。共通語はもちろん日本語。準備や発表の助っ人をつとめてくれたのはJETタイ学生の3人のお姉さんたち。高校生の発表にJET生も身を乗り出すようにして耳を傾け、さらにいっしょに歌い、踊り、教室は熱気でいっぱいでした。

最終日は事務所に来て、一人ずつ先生方の前でしっかりとあいさつができました。これからの伸びが楽しみな生徒たちです。(得猪節子)



←タイの文化を紹介するチットラーダ校生

2018年度の奨学生決定

在籍学生4名が受給

文部科学省から給付される学習奨励費生には、進学科から Chung Sim Yee さん(マレーシア)、基礎科から Laura Iduansjah さん(インドネシア)が選ばれました。

高山国際教育財団の奨学生には、許哲瑄さん(台湾)と Maria Ignatia さん(インドネシア)が選考され決定しました。

また、卒業後に進学先で給付が約束される学習奨励費生は、本校から推薦した2名(陳禾家さん(台湾)、Lin Frank さん(アメリカ))と、自力で予約できた4名(張捷明さん、Atika Natalia Sasmita さん(インドネシア)、鄭禹彤さん(台湾)、李明峻さん(台湾))が決定しました。

共立交流奨学財団の奨学生には、JETから戴恩辰さん(台湾)を推薦しました。

介護福祉士候補生クラス(3期生)スタート

EPAによる介護福祉士候補生に対する日本語教育を、「桐和会・川口さくら病院」から今年また新たにお引き受けすることになりました。3期生となります。

2014年に1期生7名を迎え、2016年には「特別養護老人ホーム川口さくらの杜」から2期生4名(インドネシア出身)を迎えました。この3月からは3期生5名(インドネシア出身)の授業も開始。現在は、2期生と3期生のクラスがあり、木村先生、田中先生、草塩先生の三人で担当しています。

授業の目標は、介護福祉士の国家試験問題を読みこなせる日本語能力をつけることです。2期生の皆さんは来年1月の国家試験合格を目標として、まずは7月のJLPTのN2合格、また3期生の皆さんはN3、N4の合格を目指しています。

候補生の皆さんは、仕事をしながらの勉強ですが、その熱心さには目を見張るものがあり、すでに3名の方が国家試験に見事合格し、介護福祉士として日本で活躍中です。

焼津ホームステイの思い出

劉 慧美(香港)

「ホームステイ」という言葉はずいぶん前から聞いたことがあります。行ったことがないので、体験してみたかったです。学校を通じて、ホームステイに行けました。

5月4日に静岡県焼津市へ出発しました。JETの台湾人とインドネシア人以外に、ロシア人やベトナム人などいます。そのために、みんな日本語で喋りました。お母さんたちは毎日様々な料理を用意してくださいました。みんなと食事をしたり、しゃべったり、楽しかったです。

二日目は茶摘みをしてから、有名な温泉のところへ行きました。東京と静岡の感じは全然違います。東京は毎日忙しくて、混んでいます。静岡は人がゆっくりしていて、とても純粋なところです。そちらへ行って、居心地がよかったです。

この旅は短いですが、新しい人と知り合って、色々な話を聞きました。お母さんたちもとても親切にしてくださいました。毎朝6時に起きて、うなぎやおでんなど、いろいろな朝ご飯を作ってくれて、本当の母みたいです。日本へ来て初めて、あんなに和式の朝ご飯をたべて、心から感動しました。最後帰ろうとしているとき、泣きそうになるくらいお母さんたちから離れたくないです。ありがたい言葉がいっぱいあります。この記憶は一生忘れないです。

この珍しい機会を学校からいただいて、本当にありがとうございました

♪ ♪ ♪

劉 瀚文(台湾)

5月4日の朝に私とJETの生徒たち一緒に電車で焼津へ行きました。焼津駅に着いたら、ホームステイのお母さんが笑顔で私たちを家に迎えました。その家は伝統的な日本の建

物です。大きくて、綺麗です。皆さん一緒にお母さんが行った飲み会に参加しました。沢山人と知り合って、美味しい食べ物も食べました。

次の日、焼津の観光地に行きまして、日本の可愛い子供と茶摘みしました。温泉地も行きましたが、暑すぎだから、私は温泉に入らなかったです。残念です。夜に家の隣の叔父さんの家に遊びに行きました。日本人とウーノというゲームをしました。最後の日に皆一緒に昼ご飯を食べてから、お母さんが皆をつれて駅に行きました。そして、皆とお母さんにありがとうございますといいました。名残惜しく帰りました。

今回のホームステイは私にとって、いい経験だと思います。皆さんもぜひ参加しますね！今回のホームステイに参加できるのは本当に良かったです。

先輩を招いて進学座談会

5月14日、16日、18日、進学クラスに卒業生を招いて、大学、大学院進学座談会をおこないました。集まってくれたのは、邱靖雯さん(台湾・日大芸術学部)、洪婉倫さん(台湾・上智大総合グローバル学部)、Michelle Nadia Tanotoさん(インドネシア・明治大国際日本学部)、頼銀豊さん(台湾・筑波大学大学院)、Yoganata Kristantoさん(インドネシア・芝浦工業大工学部)、Atika Natalia Sasmitaさん(インドネシア・明治大農学部)の6人。

5月14日は進学クラス全員で先輩の日本語学習全般に関わる体験談を聞きました。先輩が実際にまとめたノートも見せてもらい、授業以外のところで語彙力を伸ばしたことや、過去問を何回もやるのが効果的であることなどを教えてもらいました。

16日は大学院進学希望者を対象に、18日は学部(理科系)希望者を対象に行いました。「何を研究したいのか、まず目標を持つことが大切。」「苦手科目は毎日やる。」などアドバイスをしてくださいました。「集中力、メリハリをもって勉強することが大切。」「やる気がないときに10時間やっても無駄。やる気のある時に集中してやること。休むことも大切。」「毎日、目標を立ててその日のうちに実行する。」「勉強は蓄積。」など、実感のこもった先輩の言葉に、耳を傾けていました。

後援会会費納入のお願い

JET日本語学校後援会は奨学金・学習奨励金の給付等、本校で学ぶ学生達を支援しています。校内スピーチ大会での賞品の一部や遠足の補助金は、後援会からの支出によるものです。本校の教育事業にご賛同いただける方は、会費を納入していただければ幸いです。

年会費:3000円 賛助会費(一口):2000円

郵便為替口座番号:00140-1-101927

JET日本語学校後援会

★ ★ ★

海外からのお振込みの場合は、手数料のかからない決済代行サービス flywire をご利用いただけます。

<https://www.flywire.com/pay/jet-academy/>
からログインしてください。

大学生との交流活動

- 1月30日 Bクラスに大東文化大学の学生を迎えて交流授業
- 2月1日 Gクラスに大東文化大学の学生を迎えて交流授業
- 2月2日 Eクラスに大東文化大学と明治大学の学生を迎えて交流授業
- 2月26日 CクラスとDクラスに昭和女子大学の大学生(日本語教育専攻)を迎えて交流授業
- 2月28日 AクラスとHクラスに昭和女子大学の大学生(日本語教育専攻)を迎えて交流授業



- 4月26日 早稲田大学の国際交流サークル WIC の「日本教室」に約30名が参加。
- 5月6日 慶応大学のサークル IIR による「バーベキュー&アスレチック」に18名が参加。
- 6月7日 早稲田大学の国際交流サークル WIC の「日本教室」に約〇名が参加。

ア ク テ イ ウ イ テ イ

- 1月14日 井上校長がビオラを担当するシラコバト弦楽四重奏団が、赤羽でコンサートを開きました。JETからは学生10名が、ハイドンやシューベルトなどの室内楽を鑑賞しました。
- 1月14日 森山先生のお父様が指揮をする高田馬場管絃楽団の演奏会に2名が招待され、マーラーの交響曲などを鑑賞しました。
- 1月28日 日韓合同の迫力あるミュージカル公演「コモンビート」に、14名が招待されました。
- 2月11日 両国国技館で行われた大相撲トーナメント(フジテレビジョン主催)を27名が観戦しました。
- 2月26日～2月28日 国際青少年交流会主催のスキー旅行に1名が参加しました。
- 3月2日 得猪先生による茶道体験に約15名が参加しました。
- 3月4日～7日 留学生スポーツ交流協会主催のスキー旅行に21名が参加しました。
- 3月18日 王子の北とびあで開催された講談師、神田京子の公演「怪談 Dome～番町皿屋敷」に、越野理事長が8名を招待しました。
- 5月25日 ベルエポック専門学校による体験授業に18名が参加し、カップケーキ作りに挑戦しました。

板橋区のスピーチ大会に挑戦

2月24日、板橋区文化・国際交流財団主催の「日本語スピーチ大会」に、Isaac Valentino Lee Jun Jiet 君(マレーシア)、劉慧美さん(香港)、Park Eon Gyul さん(韓国)、許少瑜君(台湾)、Aranto Munaf 君(インドネシア)の5人が参加。「自分の力を試したい」という積極的な気持ちで自主的に参加を申し込みました。

当日は、日本で生活して感じたことや言葉の力などのテーマでスピーチを披露しました。入賞こそ逃しましたが、練習の成果を発揮し初級クラスとは思えないほどの堂々としたスピーチでした。クラスメイトや先生方も応援に駆け付け、参加者にとってよい経験となりました。区の担当の方も、JET からの参加枠を超えた大勢の参加を快く受け入れてくださいました。(木村晴美)

学 校 日 誌

- 1月11日、16日、18日 北区防災センターで防災訓練
- 1月15日 進路説明会(大学学部)
- 1月22日 進路説明会(大学院、専門学校)
- 2月5日 進学科ガイダンス
- 2月14日 進学科卒業試験
- 3月18日 得猪先生が台湾出張し、台中で学校説明会
- 3月26日 数学・理科のレベルテスト
- 4月9日 ビザ更新説明会
- 4月12日～13日 寮生ミーティング
- 4月18日 漢字補講クラススタート
- 4月20日、27日、5月2日、9日 遠足の学生スタッフ会議
- 4月21日～22日 井上校長が高雄と台北で留学フェア参加
- 4月25日、26日 EJU 模擬試験
- 5月8日～25日 早稲田大学大学院日本語教育研究科で井上校長の授業を受講している院生9名が進学クラスを見学。
- 5月11日 春の遠足
- 5月18日 日本留学試験対策として、世界史の特別授業。
- 5月23日、25日 JLPT 模擬試験
- 5月25日 多読クラス「よむよむ会」スタート

大学生と春の遠足

5月11日、日ごろ交流をしている拓殖大学などの日本人大学生12名を迎え、お台場の潮風公園でバーベキューやクラス対抗ゲームなどを楽しみました。



バーベキューでは、台湾やインドネシアなどの珍しい料理が並び、大学生たちと会話が弾みました。